

●長野県上田市立真田中学校

「楽しい」「もう一度やりたい」 2色プリントが生徒の学習意欲を刺激。

真田中学校では、各教科の教材や学校だよりなどに幅広く2色プリントを活用。生徒の反応もよく、教育成果も現れているといいます。先生方の具体的な取り組みや生徒・保護者への聞き取り調査の結果などについてご紹介します。



小松民敏校長

データ原稿の利用で 使用頻度も大幅アップ

上田市立真田中学校は昭和31年、緑豊かな郊外の丘陵に開校され、現在、11学級357名の子どもたちが学んでいます。

同校が2色デジタル印刷機の助成校となったのは平成18年4月。研究担当の北沢敦先生によれば、印刷機導入の1ヵ月後、パソコンから直接データを送って製版する方法が先生方に広まり、使用頻度がぐんと上ったとのこと。これまで2色デジタル印刷機を活用している印刷物は、「学校だより」「学年通信」「学級通信」、および国語、数学、理科、社会の教科の配布物です。

予想を上回る効果

国語を教えている北沢先生は、古文の授業に2色プリントの教材を採り入れました。そのころ、なぞり書きの書籍がよく売れ、ブームのようになっていました。北沢先生も自らやってみて「楽しかった」と言います。

「そこで、視写の場面で、単に正確に書き写すのでなく、間になぞり書きという一段階を入れると、生徒の興味が上るのではないかと考えたのです」

3年生では、『奥の細道』本文を先生が丁寧に書き、赤色印刷します。これを生徒が鉛筆でなぞり書きします。終わったあとで、活字印刷による本文を見ながら視写するのです。

この効果は予想を上回るものになりました。なぞり書きを終えて視写に移る段階で「楽しい」「もう一度やりたい」という声が多く上り、予備のプリントをもらってもう一度書く生徒まで現れたと言います。しかも、視写した文字もふだんより丁寧になり、くせ字もおさまる傾向が見えたのです。「古典は仮名遣いが面倒ですが、間違いが少なくなりました」（北沢先生）

内容の把握も的確に

2年生で『徒然草』を教材にした際にも同様の授業を行いました。ここでは音読、なぞり書き、

視写の後で、登場人物の行動を確認しました。3年生と同じく楽しんでなぞり書きをし、視写でも丁寧な文字を書く生徒が多くなりましたが、それと同時に登場人物の行動を確認する場面では、内容や語句についての確に把握していることがわかったのです。

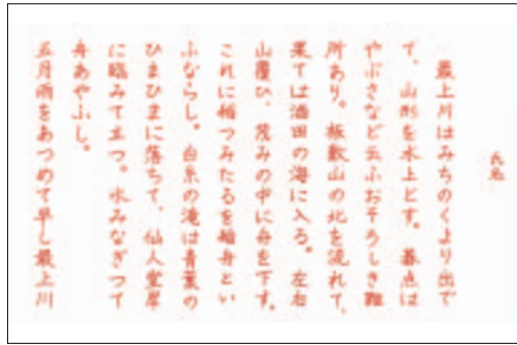
「生徒は古典には苦手意識をもちやすいです。何とか楽しく興味を持って学習する方法はないものかと考えていましたが、ひとつの解答を得た気がします。2色プリントの活用は学習意欲につながる刺激になり、入り口になったと思います」（北沢先生）

数学科などの授業では、テストの答えと解き方を赤で印刷し、見やすくしました。これも試行錯誤しながら教育効果の高い方法を模索しましたが、問題と解答欄を黒色、正解を赤色で印刷する方法が、いちばん「見やすい」「正解が強



2色デジタル印刷機の前で（北沢敦先生）

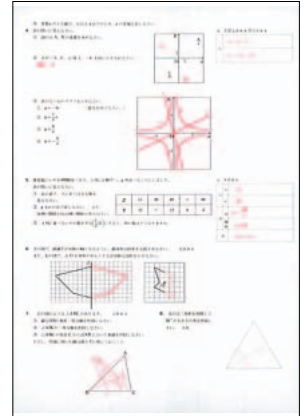
効果が高かった古典のなぞり書き



修学旅行先の京都に関する小テストの解答



1年生数学の解答用紙



左から2年1組学級通信『木の花』、学校だより『天翔けん』、3年生学年通信『本気』、新聞委員会の生徒会通信『希望』



く意識できる」という反応を得られました。

社会科学や理科でも同様に2色印刷で正解の見直しを行っています。

生徒などからの聞き取り調査を実施

学習プリントや教材以外では、「学校だより」「学年通信」で2色プリントは大いに活用されています。

見出しや重要な部分に赤色を使い、強調することはふつうに行われていますが、真田中学校では写真を掲載する際にはほとんど2色プリントしています。

この際にどの色を使うか、先生方の間でも意見が分かれています。が、青赤で印刷する方法が「立体感が出る」「見やすい」「最良だ」と感じている先生が多いようです。

また、2色プリントの効果や使い方について、生徒・先生・保護者から聞き取り調査を行っています。さまざまな声が聞かれましたが、生徒からは「黒色だけより黒赤のほうが見やすいし、興味がわく」「教科のプリントで黒以外だと重要なところがわかってよい」

「2色で印刷されていると、自然にプリントに目が行く」などの感想がありました。

先生からは「生徒は2色プリントを楽しみにしている」「プリントで解答や考え方の例などを赤で印刷して渡すと反応がよい」「通信類を配布したときに熱心に目を通している」など。さらに保護者からは「見やすい」「印象に残る」という声が多く聞かれました。

「生徒は2色プリントを配布してからは、印刷物を熱心に見るようになりました。先生方の間でもプリントについて話題が多くなっています。色を使うことで、これまでふつうに出してきた印刷物の効果、目的などを振り返る端緒になったと思います」(北沢先生)



上田市立真田中学校